

2022年度 宝塚市立光明小学校 3年生環境学習支援報告書(春季編)

報告者：木茂 恭子

行事名	
実施日時	2022年 6月 7日(火曜日) 9時35分～14時30分 天候:雨のち晴れ
場所	兵庫県立有馬富士公園
内容 (テーマ)	春・夏・秋・冬の1年間を通して草や虫など植物や動物のいろいろな生きるすがたを観察しよう。 生きるものどうし、食べたり食べられたり、どんなつながりがあるのでしょうか？
対象者	3年1組、児童数 25名(1名欠席)、担任 山本先生・木下先生・中村先生
MNCスタッフ数	9名 軸屋・小西・木村(良)・新宅・撫坂・高橋(美)・小山・溝部・木茂
経過・状況	<p>9:00 MNC スタッフ JR 新三田駅改札口に集合 小山さんの車とタクシーに分乗して有馬富士公園へ</p> <p>9:20 児童、貸切バスで有馬富士公園に到着(トイレ休憩)</p> <p>9:35 パークセンター前に集合(班別に整列)始めのあいさつ・諸注意 先生:高橋・小西</p> <p>9:45 班ごとに生き物の観察に出発 ケヤキの木→出会いの広場→花の道→花の講堂→野鳥観察シェルター→ターザン広場→ササ藪の迷路→カエルの池→ターザン広場→かやぶきの東屋→草地の生態園→水辺の講堂</p> <p>11:30 昼食 草遊び・草や虫の名前を調べる</p> <p>13:00 草地の生態園で鬼ごっこ、紙とんぼ飛ばし</p> <p>13:40 自然学習センターへ出発</p> <p>14:00 児童感想発表</p> <p>14:10 児童自由見学</p> <p>14:30 終わりのあいさつ</p>

児童たちが到着して整列する頃より、雨が降り始め、急遽雨合羽を着ることから始まりました。高橋さんからは「この一年春は有馬富士公園、夏は武庫川の生きもの、秋は自然の家、冬には武庫川の野鳥観察をします。今日一日楽しく観察しましょう。」との挨拶があり、本格的に雨が降る中、観察が始まりました。



はじめの挨拶



この葉っぱはどんな匂い？



この木の特徴は？



ウリカエデの翼果がいっぱい



ヤツデの葉の切れ込みはいくつ？



オトシブミの説明



とれたかな？



ミシシippアカミミガメの産卵に遭遇



お弁当タイム



ベニシジミ



テントウムシとれたよ



ヨコズナサシガメ



何トンボ？（同定できず）



紙とんぼ飛ばし



感想発表

□ 児童の感想

- ・武庫ネイチャーの皆さんと色々な植物や動物を観察して教えてくれて勉強になりました。
- ・トンボやコオロギがとれて楽しかった。
- ・カメが卵を産んでいるところが見れてよかった。
- ・たくさんの虫を捕まえたが、カマキリがいなかったので残念だった。
- ・色々な葉や虫を観察して、葉っぱの筋が出てくるところがおもしろかった。
- ・有馬富士公園に来てサシガメという虫を初めて知り、もっと知りたいと思った。

□ 記録者雑感

当初、5月13日に実施予定でしたが、雨天順延になり、この日は天気予報に反して、スタートからかなりの雨の中、慌ただしく観察が始まってしまったため、児童からスタッフへの挨拶が途中の草地の生態園で行われた。児童たちは興味深げに説明に耳をかたむけていました。午前中は早めに草地の生態園に着き、虫取りに夢中になっていたところ、ミシシippアカミミガメの産卵に遭遇するというハプニングにみんなカメのまわりに集まり興奮した様子でした。雨は午前中にあがり、早めの昼食後はたっぷり時間を取り、自由に遊んだり、池のまわりの虫を追っかけていました。午後は学習センターへ帰る前に先生の提案で鬼ごっこをしたり、ウリカエデの翼が飛ぶ様子を、紙とんぼを飛ばすことで経験することができたのは良い思い出になったことと思います。また先生と児童たちのとてもいい関係性が見ることができた一日でした。